

松田亜希子 interview



Q. マリンバと出会ったきっかけは？

幼稚園で歌を歌う時に、すごく熱唱していたみたいで、幼稚園の先生が「おそらくこの子は音楽がとても好きなので、何か習うのは良いかもしれませんね。」と提案してくださいました。私は活発な方だったので、ピアノとかヴァイオリンとかよりは、アクティブなものの方が合うのではないかとということで、母親がたまたまマリンバという楽器を知っていたこともあり、また、マリンバはすごくアクティブな楽器なので似合うんじゃないかなということで、習いはじめました。

Q. マリンバを続けようと思ったのは？

続けるとかやめるとかそのような観念がなくて、受験などでお休みもしたのですが、自分にとって生活の一部になっていたので、自然と続いていきました。はじめの先生との出会いも私にとってはとても良くて、それも続けていけたことに繋がったと思っています。

Q. マリンバの魅力は？

音色です。

本当にただ木を叩いているだけなので、シンプルな仕組みからでる、深い音色が他にはないかなと思います。

Q. 松田亜希子マリンバリサイタルはどのような公演？

マリンバという楽器の音色を楽しんでいただけるような公演にしたいなと思っています。

マリンバは色々な魅力があって、色々な方向から見て楽しめる楽器だと思います。すごく技巧的だったり、アクティブだったり…。この度の公演では「音色を大切にする」そのような公演にしたいと思っています。

Q. 「日本を奏でる」邦人作品への思いとは？

数曲、弾きたいなと思った曲が思い浮かんだんですが、その曲が全て日本人の作品だったんです。

それならいっそのこと邦人作品だけのリサイタルにしてみよう。外国人の作品を弾くことも多いですが、やはり、極論ですけれど外国人にしかわからない感性があると思うのです。では逆に日本人にしか弾けないもの、出せないものってどのようなものがあるのだろう…と。

この2年間、日本に留まっていた方も多いいと思います。私もそうですし、それなら邦人作品でまとめたコンサートをおこなうことで、この機会に自分の中の日本人らしさを見つめ直してみたいと思ったのもひとつあります。あとは、リサイタルをおこなうにあたって、ひとつの軸を持たせたかったので、邦人作品、日本の作品でまとめたいと思いました。

Q. 音楽祭の中の他の公演の魅力は？

マリンバは多様性のある楽器だと思います。私のリサイタルではマリンバオリジナルの作品にほとんど絞って演奏するので、そういった作品にしかない響きがまずあると思うんですね。

ところがラグタイムを演奏すると、途端に身近で愉快的な楽器になり、朗読と共に聴くとその空間を包み込むような温かい響きになる。

内容によって表情を変えていくマリンバの魅力を、ひとつの音楽祭の中で同時に見ることができる素敵な機会だと思います。

Q. コロナ禍で気づいたことは？

コロナ禍で活動ができない時に、動画配信などを積極的に取り入れて活動されている方もいらっしゃったのですが、そういう方向にあまり意欲が湧きませんでした。配信はしないの？と尋ねてくださる方もいたのですが、機材に弱いというのがあります、なんとなく自分の中で盛り上がらなかった…なんでだろう？って思った時に、やはり自分はお客様の目の前で弾いて、目の前で話をして、こちらが投げかけた音であったりトークで、相手や空気が変わっていく。そういった瞬間がとても好きで、そういうのが楽しくてコンサートを、演奏を、していた部分があったんだと改めて感じました。

Q. ビフォーコロナと今との違いや変化とは？

演奏家も音楽好きの方も生の音に飢えている状況だなと思います。

クラシックに限らず、ライブなどで見知らぬ人と隣同士に座って同じ音楽に心を動かされるというのは、不可能になってから思い返すとなんて素晴らしい空間だったんだろうと思います。

Q. アフターコロナをどう想像しますか？

動画配信や、ライブ配信のコンサートも増えていき、聴く側の選択肢が増えて面白いのではないかなと思いますね。家でコンサートを楽しむというスタイルができると、例えば、病院にいてもコンサートを気軽に楽しむこともできますし、離れて暮らしている知人などが観ることができます。色々なスタイルがあって、良い世の中になるといいなと思っています。

Q. 公演に来てくださる皆さまにメッセージを！

お越し下さった方々が、ゆくゆく年数が経ったときに、「本当にコロナでひどい目にあったよね、でもあの時にマリンバのコンサートに行ったよね」という、思い出にちょっと色が加えられるような、そんな良い時間をお届けできたらなと思っています！

Q. 松田亜希子にとって音楽とは

思い出の引き出し。

その曲を聴くとあの時のことを思い出す、というような、色々な方の思い出を引き出す鍵のようでもありますし、色々な音楽を聴いてところを揺さぶられたりして、豊かなものにしてくれる、そのようなものではないかなと思っています。

Q. コロナ禍でハマったものは？

ガーデニング。その中でもピンクバナナの栽培がオススメです！

気づいたら植物を飼うようになっていました。何かが育つを見るのはこころの癒しになるそうで、練習室から見えるバナナリーフが、すごい日を浴びて風にそよいでいるのを見ると本当にこころが癒されました。バナナのなり方って今まで知らなかったんですけど、そういうのを見ているのも食育にもなりますし、お子様のいらっしゃるお家にもぜひオススメです！